

『1つの目標に向かって』

はせがわ じゅり
寝屋川消防署 警備課 消防司令補 長谷川 珠里(38)

《業務内容》

消防というと消防隊・救急隊・救助隊の仕事がイメージされやすいところですが、私の勤務する警備課（毎日勤務）では、現場活動で必要となる資器材や車両の修理整備の対応、職員が勤務する庁舎の管理等をおこない、現場で働く職員を陰から支える仕事を行っています。また、消防署に来署される方の窓口の役割も担っており、市民の方々と接する機会も多い部署となっています。

《仕事に対するやりがい》

私は平成17年に入職し、これまで消防隊、救急隊、予防課、指揮支援・調査隊、大阪府立消防学校の教官としての勤務を経て、現在の警備課で勤務しています。様々な部署で勤務させていただきましたが、どの部署にも共通しているのは、どの部署も『市民の安全と安心を守る』という目標のために日夜、訓練・業務に励んでいるということです。

入職から約15年勤務していますが、どの部署にいても市民の方に喜んでいただけたときが一番この仕事をしていてよかったと感じる瞬間です。



《女性消防吏員として働くうえでの職場環境》

消防というと男性の職場としてのイメージが強いと思います。私の入職当時は全国的に女性消防吏員が現在よりもさらに少なく、消防隊や救急隊といった災害現場の前線に女性が出ることが困難な環境でした。しかし、本消防組合は当時から災害現場で活動する部署に女性職員を配置し、私自身も消防隊で勤務していた際には、当時大阪府下初の女性大型機関員として梯子車や化学車の機関員をさせていただくこともあり、女性だからできない…というのではなく、女性であっても男性であっても新しいことに挑戦できる環境を本消防組合は作ってくれていました。今現在は、昨年に子どもも生まれ、産休・育休を経て職場に復帰し、仕事と子育てを両立しながら職務に励んでいます。今後も変わらず市民の安全と安心を守る消防吏員でありたいと思っています。

